

(様式2)

## 放射線等に関する教育実践事例

学校番号・学校名	〈小・60〉	いわき市立	菊田	小学校	
〈実施日〉	平成 27 年 12 月 10 日 (木)				
〈実践教科等〉	※当てはまる番号に○を付けてください。4は( )に教科等を入れてください。				
1 理科	② 学級活動	3 総合的な学習の時間	4 その他	( )	
〈実践内容〉	第3学年 「ほうしゃせん なにに気をつければいいの」				
【ねらい】	放射性物質の存在を知り、放射性物質を体にたくさん取り込まないように、気をつけて生活しようとする。				
【実践内容】	(1) 「放射線」や「放射性物質」などの意味を考える (2) 放射性物質から影響を受けないための方法について話し合う ・ 「放射線」や「放射性物質」の意味を知る ・ 放射性物質の多い場所 ・ 放射性物質を体に取り込まないために気をつけること				
	① 外で遊んだら、手洗いやうがいをし、顔についた土や砂を洗い落とす。 ② 服についたほこりや、靴についた土などを落としてから教室や家に入る。 ③ お風呂に入ったり、シャワーを浴びたりして、体を清潔に保つ。 ④ 風が強いときは窓を閉める。 ⑤ 川や水たまりの水・土や砂を口に入れないようにする。 ⑥ 心配な時はお母さん、お父さん、先生などに相談する。				
	・ ホットスポットについて知る (3) 日常生活でこれから気をつけたいことを確かめる				
〈成果〉	○ 「放射線」や「放射性物質」の意味を知り、どんな場所・どんなことに気をつけて生活すればよいか考えることができた。 ○ 放射性物質を体に取り込まないために気をつけることは、初めて耳にすることではなく、これまでも日常的に取り組んでいることだということに気づくことができた。				
〈課題〉	● 学区内には草むらや山が多く、安全性等が不確かなところがあるため、そういった場所に近寄らないよう日常的に指導する必要がある。				
資料作成担当者職	( 講師 )	氏名	( 緑川 沙希 )	学校電話番号	( 62 - 2915 )

### 【資料作成上の注意】

- 平成27年8月～平成28年7月の実践についてまとめてください。
- 提出期限の平成28年8月1日(月)までに電子メールで送信してください。  
(送信先: [kakuta-k@city.iwaki.fukushima.jp](mailto:kakuta-k@city.iwaki.fukushima.jp))